

2023年8月31日号

身近な AI となるか？ – Microsoft 365 Copilot

1分でわかる！

会社を成長させるための

桑原事務所メルマガ通信

みなさま、おはようございます。

社会保険労務士法人桑原事務所の佐藤でございます。

前回の私のメルマガでは、「ChatGPT」をはじめとする生成 AI（ジェネレーティブ AI）の進歩が多岐にわたっていることをご紹介いたしました。

では、実際に今あるそれらの AI を直接わたしどもが業務に生かせるのか？というと、まだまだハードルが高いのかなといった印象を持たれる方が多いのではないのでしょうか。

そのような中、マイクロソフト社から AI アシスタントの

『Microsoft 365 Copilot』

（マイクロソフト 365 コパイロット）

のリリースが近づいているという情報をキャッチいたしましたので、ご紹介いたします。

「コパイロット」とは直訳すると「副操縦士」という意味なのですが、これがどういったものなのか？というと、私たちが普段使用している「ワード」や「エクセル」などに AI を組み込むことで、私たちはまるで人間のアシスタントに仕事を頼むかのような感覚で「コパイロット」に指示するだけで、文書の作成やデータ解析を手伝ってくれる、というものになるそうです。

参考までに、たとえば「ワードのコパイロット」についてマイクロソフトのホームページに公開されていた情報を以下にご紹介いたします。（英語のものを Google 翻訳したものです）

<ワードのコパイロット> -----

ユーザーのすぐそばで執筆、編集、要約、作成を行います。短いプロンプトを表示するだけで、Word の Copilot が最初の草稿を作成し、必要に応じて組織全体から情報を取り込みます。Copilot は、既存のドキュメントにコンテンツを追加し、テキストを要約し、ドキュメントのセクションまたは全体を書き換えてより簡潔にすることができます。プロフェッショナルなトーンから情熱的なトーン、カジュアルなトーンから感謝の気持ちまで、適切な音を立てるのに役立つ提案されたトーンも表示されます。Copilot は、主張を強化したり矛盾を解消したりする提案を提供して、文章を改善するのにも役立ちます。

Google 翻訳したままなので日本語がおかしいところもありますが、なんとなくは解るような、でも具体的にどのような形でどのような動作をするのかなどはわからないところだらけです。しかしながら、毎日業務で使用しているワードやエクセルなどにこれらの機能がついたら、どれだけ日々の業務に変化がでてくるのか、今からでもワクワクしてしまいます。

リリースが近づいて実際に動いているところなどを見ることが出来れば、より業務への導入イメージが湧きやすくなると思いますが、はてさてその名前の通り私たちの身近な副操縦士となってくれるかどうか、今後の情報が非常に楽しみです。

ご不明点等ございましたら、お気軽に当事務所までご連絡ください。
よろしく申し上げます。

社会保険労務士法人桑原事務所
〒747-0801 山口県防府市駅南町 8-14
TEL:0835-22-6706
FAX:0835-26-0023
MAIL: info@kuwasr.net
